

2026 年度 16 章 セルフ学習問題

解答用紙に、(Q*)への妥当な解答を記入してください。複数の正答の可能性もあります。その場合は正答表に〇〇/◎◎などと併記してあります。同義であれば正答とします。

- 1 「病気の物語を認識し、吸収し、解釈し、それに心動かされて行動する能力」のことを(Q1)能力という。
- 2 糖尿病とその療養を行っていけるかどうかは、自分にとって糖尿病の問題は大事なことだという信念と、自分はやればできるという(Q2)にかかっている。
- 3 患者は、ある程度糖尿病というものを受け入れ乗り越えかけるとき、(Q3)の時期を迎える。
- 4 患者が疾患やその治療、自分の健康などに、どれくらい注意・関心をいただいているかの程度のことを(Q4)という。
- 5 まだ食事指導の内容は遵守できず、甘味間食もしてしまうが、このまま高血糖の状態が続くのはまずいかな？ と考え始めている。変化ステージの(Q5)である。
- 6 まだ望ましい行動は取り切れていないが、始めようとし、何かしら行動を変え始めている。この段階の患者には頑張るよう励まして大きく行動を変えるよう働きかける。(Q6 ○か×か)
- 7 望ましいセルフケア行動を開始してから、すでに(Q7)ヶ月以上を経過した。こういった患者の時期を維持期という。
- 8 維持期に入り、患者の血糖関連データは良好が続けている。患者負担を軽減するためセッションは簡単に切り上げる。(Q8 ○か×か。)
- 9 一度失敗してしまったときに、その失敗をどう捉え、その次にどう行動するかを、(Q9)効果という。
- 10 糖尿病療養とその結果における責任の分担を明確にし、患者の自己決断を尊重する考え方を(Q10)という。
- 11 好ましくない行動が再発しやすい高危険度状況には、陰性的な感情状態、社会的な圧力、および(Q11)がある。
- 12 一回のセッションにおいて、各職種の指導は(Q12)されたテーマで行われることが望ましい。
- 13 患者の怒りの感情は医療者に(Q13)して、医療者も往々にして怒りを覚えてしまう。
- 14 患者が医療側の提案や指示、指導にどのくらいきちんと従って療養を遵守しているか、を(Q14)という。

15 うまくいっていた患者がまず最初の逸脱をするきっかけとしてもっとも多いのは食物を出された、見たなどの(Q15)である。(Q15)なしの逸脱は 12.2%だった。

16 エンパワメント法/変化ステージ法の中で、「目標を立てる」ときには、まずはざっとした目標を立ててから、細かいステップに進んでいく。(Q16 ○か×か)

17 セルフケアが可能で、血糖管理も目標内だが、きわめて(Q17)負担が強いような症例についても問題として取り上げ、軽減策を話し合う。

18 適正なインスリン注射ができなくなり、血糖をより高めに維持しようとする一部患者にとって、(Q18)恐怖が重要問題である。

19 DAWN の JAPN Study において、インスリン自己注射初回導入には、患者側のみならず、(Q19)側にも心理的抵抗があり、治療効果の遅れが明らかになった。

20 ある人や集団が社会的に「異質」「劣っている」とみなされ、不当な差別や偏見を受けていることをあらわす概念を(Q20)という。